

5月は学期末なのでスポーツを含めすべてのまとめでより忙しくなりました。みんなが3か月の夏休みを待ち遠しく感じる一方、12th grade（通称シニア）の友だちの卒業式も近づいていたので学校は少し寂しい雰囲気でした。卒業式は卒業生全員がキャップアンドガウンを身に着けていたり、小さい学校であったりすることもあって日本のものと比べるとカジュアルな印象でした。しかし、なかには幼稚園からこの学校に来ている人もいたのでスピーチはとても感動的でした。1年しかこの学校で時間を過ごすことはありませんでしたが、たくさんのことを思い出させてくれました。この学校に派遣されて、このホストファミリーにステイできた私は本当に幸せ者でした。

シカゴに到着したのは未だに先週のことのように感じますが、すでに10か月が経ってしまいました。やっとつらい時期を乗り越えて、友達とも仲良くなってきた矢先だったので正直まだここに残ってもう一年学校に行きたい気持ちもあります。しかし、ここで経験したことを日本に届けるところまでが私の留学の目的です。まだ留学がただの夢だったころ、先輩方がアメリカ高校留学についてのプレゼンテーションをしてくださったことをまだ鮮明に覚えています。この10か月いろんなひとにもらったものを今度はいろんな人に与えていきたいと思います。留学は私を良い方向に変えてくれました。このまま芯を曲げずにアメリカで学んだことを活かして日本でもできることを増やしていきたいです。

白鷗高校 14 期生、次世代リーダー育成道場 10 期生 Y.K



夏休みに入ってから湖で2日に1回ペースで泳いでいます